

ATM運用にかかわる業務負担の軽減を支援する「ATMクラウドサービス」

多くの金融機関ではATMの運用にかかわる業務負担とコスト低減が大きな課題となっています。そこで日立は、ATMの取引内容を記録して保存するATMジャーナルの集中管理や、ATMの状況監視といった業務をクラウドサービスとしてメニュー化した「ATMクラウドサービス」※1を提供しています。金融機関におけるATMの運用管理をトータルにサポートした本サービスを利用することで、お客さまは経営効率の向上とTCO※2の最適化の実現が図れます。

※1 本サービスは、日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」のラインアップの一つです

※2 Total Cost of Ownership

負担の大きいATM関連業務をクラウドサービス化

金融機関における経営効率改善に向けたOHR※3軽減への対応策の一つとして、ATM運用のアウトソーシングサービスへの期待が高まっています。これまで自行管理による運用・保守が主流だったATMの運用を、従来の信頼性を確保しながら、さらに効率を向上させることが求められています。日立は、こうしたお客さまニーズに対応するため、高信頼なデータセンターであるHarmonious Cloudセンタを基盤とした「ATMクラウドサービス」の提供を開始しました。

本サービスは、国内金融機関におけるATMトップシェア※4ベンダーとして高い技術やノウハウを持つ日立オムロンターミナルソ

リューションズ株式会社が提供しているATM周辺サービスをベースに、「ATM監視・運用サービス」「ATMリモートメンテナンスサービス」「ATMジャーナル集中管理サービス」の3つをメニュー化し、クラウドサービスとして日立が提供するものです。

金融機関のお客さまは、最新のATM運用関連サービスを、必要に応じてサービス単位で利用可能なため、ATM運用に関する業務負担の軽減、コストの低減を実現することができ、コア業務への集中が可能となります。

また本サービスの保守・運用は、株式会社日立システムズが長年培ってきたデータセンターやネットワークなどのリソース運用・保守の実績・ノウハウを生かして担当します(図1)。

※3 Over Head Ratio: コア業務粗利益経費率。銀行業における経営効率を図る代表的指標

※4 設置台数に関する日立オムロンターミナルソリューションズ調べ(2013年5月現在)

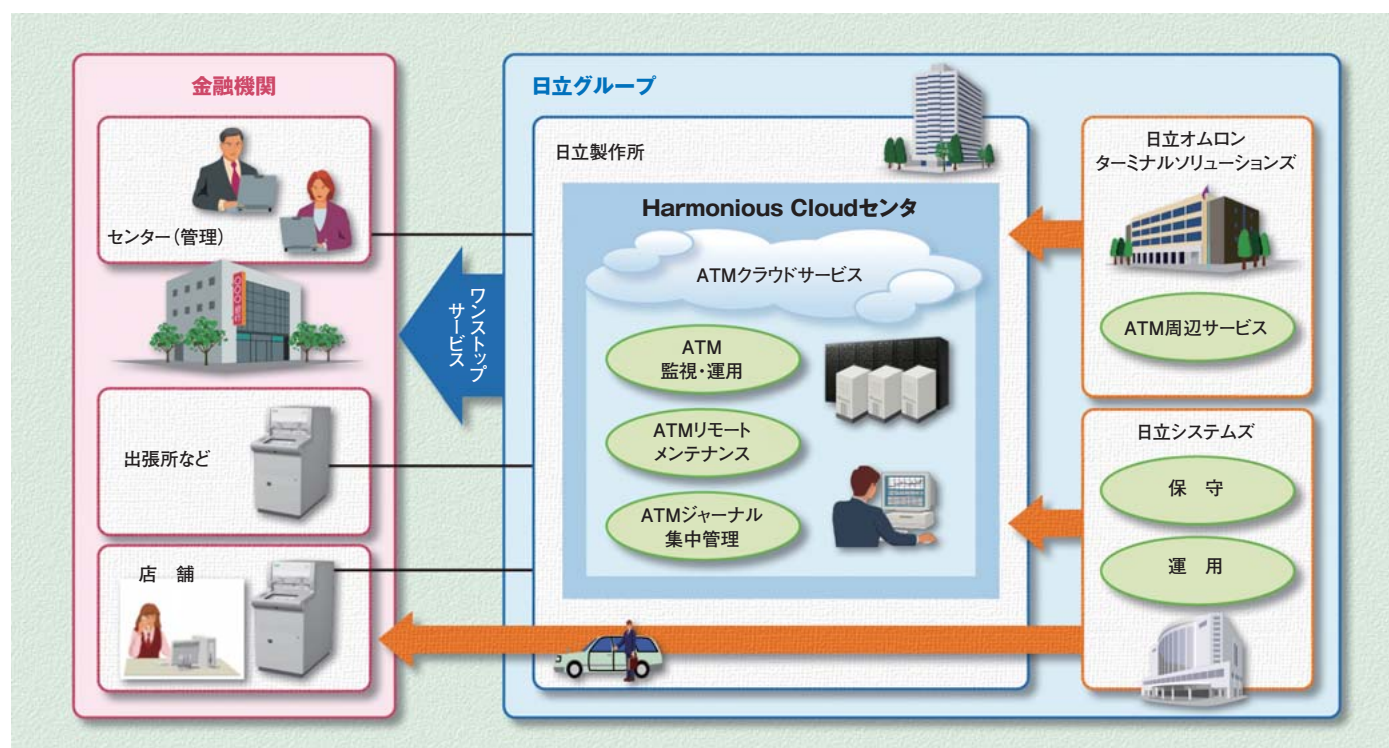


図1 ATMクラウドサービス全体イメージ

ATMの運用管理にかかわる各種業務を ワンストップで提供

■「ATM監視・運用サービス」

日立の実績あるATM監視システムを利用して、業務に精通した専任技術者が、ATMの監視・運用業務を代行します。お客さまがATMの自動監視業務を実施するために必要な機能の提供、お客さまが運用されている監視業務の代行など、ご要望に応じた柔軟なサービス形態の選択が可能です。本サービスによる監視と保守情報をシームレスに連携させることで、万一障害が発生した場合にも、ただちに日立の保守員が的確な対応を実施するため、ATMの停止時間短縮による稼働率向上に寄与します。

■「ATMリモートメンテナンスサービス」

これまで、お客さまが手作業で実施していたATMのプログラムやBIF^{※5}配布作業・ファイルの切り替えを代行するサービスです。多くの人員と日数をかけていた煩雑なメンテナンス作業を日立がリモートで実施するため、お客さまの業務負担を軽減します。

※5 Banking Information File:銀行名ファイル

■「ATMジャーナル集中管理サービス」

ATM内部にあるATMの取引内容を記録・保存するATMジャーナルを日立のHarmonious Cloudセンタで集中保管/管理するサービスです。紙ジャーナル(ロール状の記録紙)の廃止によって、用紙の購入、交換、管理・搬送、廃棄といったATMジャーナル運用コストを低減できます。センター集中化により本部や各営業店などからジャーナルデータを容易に検索・照会できるため、データ検索時間の短縮といった業務負担の軽減が図れます。また、データ管理・保管にかかわる情報漏えいリスクの低減により、ATM運用業務の合理化を実現します(図2)。

高信頼なクラウドサービスで高レベルなセキュリティ

ATMクラウドサービスは、そのサービス提供基盤に、金融機関の基幹系システムやチャネル系システム、インターネットバンキング共同センタサービス「FINEMAX」などで豊富な実績のあるHarmonious Cloudセンタを活用しています。Harmonious Cloudセンタは、データの暗号化やアクセス操作履歴取得などの情報漏えい対策を施しており、侵入防止、不正防止、データ保護、設備・運用環境など、システム運用の側面からも最高レベルのセキュリティを確保しています。

お客さまは、本サービスを利用することで、現在みずから行っているATMに関する業務を、新たなシステム投資や資産を有することなく、高いセキュリティを確保したクラウド環境で利用できます。さらに、ATMの運用に関するトータルコストの低減も可能になります。

今後も日立は、幅広い金融機関へのシステム/サービス提供で蓄積した実績とノウハウ、日立グループの総合力を生かし、勘定系/インターネットバンキング/チャネル系システムなどと連携したATM取引業務におけるお客さま満足度向上やBCP^{※6}対策など、新たなニーズに応えるクラウドサービスをタイムリーに開発・提供し、ATM利用価値のさらなる向上を支援していきます。

※6 Business Continuity Plan:事業継続計画

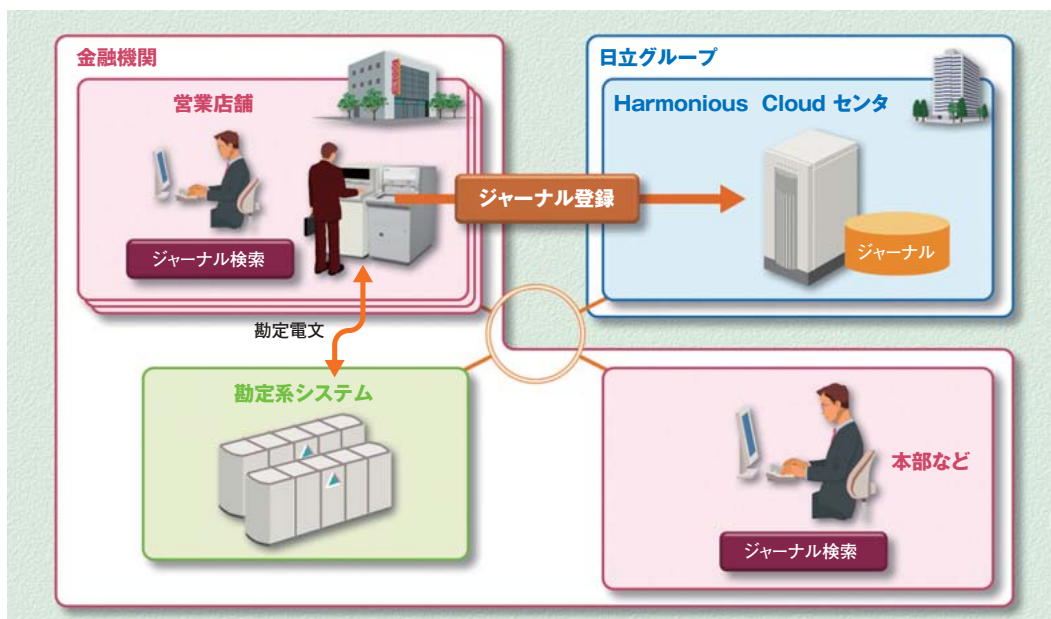


図2 ATMジャーナル集中管理サービス

お問い合わせ先

(株)日立製作所 金融システム営業統括本部
<http://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

情報提供サイト

<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>